

≪災害初動期の状況報告シート≫

何回目の報告
かを記入ください

●現時点でわかっている内容を記入してすぐに返信いただきたいので、数字を記入する箇所はおおよそで構いません。

●現時点で把握している内容のみで結構ですので、わからない部分については確認中、現時点で不明など記載いただければ結構です。

No.

時 分 現在

① 災害 の 種	災害の内容	豪雨、土砂災害、地震、津波、浸水、大雪、台風、竜巻、その他()
		(具体的な状況)

- 被災あり(下記の記載の上、FAXまたはメールにて報告してください)
被災なし(以上です、そのままFAXまたはメールにて報告してください)

② 事業所・施設 の被災状況	事業所・施設の被災状況 (建物やライフラインの被害)	停電、断水、ガス停止、固定・携帯電話不通、浸水、物資不足、土砂災害、火災、建物倒壊、その他() (具体的な状況) 記載例: 停電でパソコンが使えない・断水中・事業所が浸水した・建物が崩壊している・道路が寸断され事業所へ行けない・携帯電話が使用できない 等	
	介護支援専門員等の被災状況	支援が必要な介護支援専門員 名	支援が必要なその他の職員 名
介護支援専門員や職員で ①被災している ②災害が原因で活動できない 等の理由により支援を必要としている介護支援専門員の人数をおおよそで構いま			
③ 地域の被災状況 (分かる範囲)	利用者・入所者等の被災状況 (全体の人数 人)	□安否確認が取れていない利用者(名) □サービス調整が出来ない利用者(名) □その他 (具体的な状況) 困っている状況を把握するための項目です。わかっている範囲で構いませんので記入してください。安否確	
	事業所で登録している人数を平常時に記入しておきま	(都道府県、市区町村、●●地域包括支援センター圏域等)	
	被災状況	(ライフライン、交通機関、道路状況等)	
	地域包括支援センターの運営状況(機能しているか)	1.機能している ・ 2.機能していない ・ 3.把握できていない	
	地域のサービス状況	(被害がある場合具体的に) 記載例: デイサービス利用中に自宅が浸水し帰る場所がない方が3名おり、デイサービスで宿泊をお願いしている。等	
	必要な支援・物品等	記載例: 一般避難所へ避難している高齢者の状況把握に行って欲しい。	
	避難所の設置について	1.未設置 ・ 2.設置済み(一般避難所・福祉避難所) ・ 3.調査中	
	支部事務局機能の被災状況	1.支障なし	2.支障あり (内容: (地域組織の状況等)

TEL:

FAX:

担当:

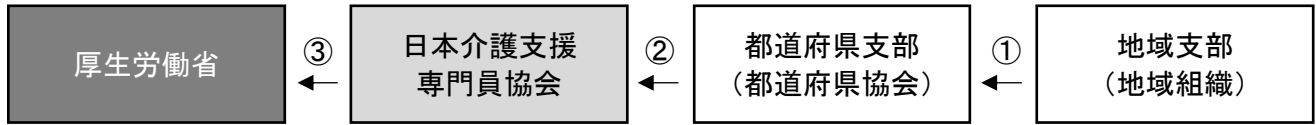
報告の流れ

はじめに

「災害初動期の状況報告シート」は、災害発生時に現地の介護支援専門員の被災状況や利用者の被災状況を把握し、支援ニーズを把握するために使用するものです。被災地の地域支部は自発的に自分の都道府県支部へ状況を報告します。情報は最終的には日本介護支援専門員協会で集約し、厚生労働省へ報告して国の災害支援活動に活用されます。

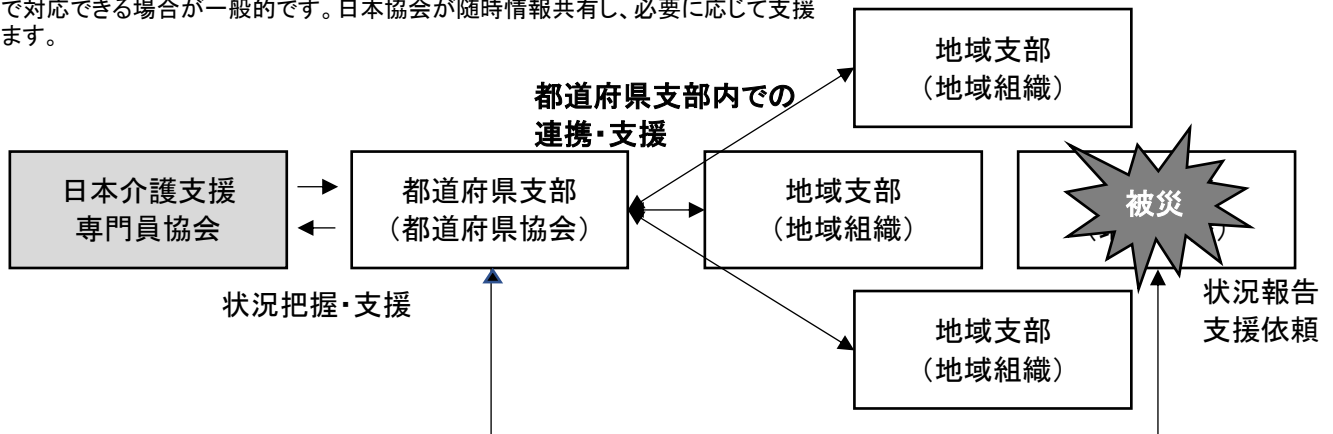
災害時の情報収集は迅速な対応が求められるため、シートは「簡単に記入でき、すぐに返信できること」「数字は正確性よりも迅速性(現時点でのおおよその数)」を念頭に作られています。空白があっても構いません。わかる範囲で記入しなるべく早く報告してください。

基本的な報告の流れ



例1)限局的な災害の場合

被災地域が限定されている災害の場合は、都道府県支部で情報収集にあたり、支援活動も県内で対応できる場合が一般的です。日本協会が随時情報共有し、必要に応じて支援を行います。



例2)大規模災害の場合

東日本大震災や熊本地震のような大規模災害の場合、甚大な被害により都道府県支部も被災して機能しなくなります。日本協会や被災都道府県協会では被災支部の役員等に安否確認を行い、状況が分かったら、隣接する支部や同じブロック内の支部と連携して、情報収集と支援活動にあたります。必要に応じて、被災地での支援内容を県庁等と調整するために日本協会から役員が現地入りするなど、全面的な支援体制を構築します。いざという時に迅速な対応ができるように平常時から隣接する支部・同じブロック内の支部同士では災害時の連絡体制や支援等について取り決めておきましょう。

(参考:災害対応マニュアル第5版 事業所から市町村、都道府県協会等への連絡体制(P54))

